

商業四団体合同新春講演会 開催

商業四団体（千葉県商店街連合会・畔高敦司会長、千葉県商店街振興組合連合会・石戸新一郎理事長、千葉県共同店舗協議会・中村秀朗会長、千葉県商業協同組合協議会・土屋利夫会長）は2月1日、千葉市内のホテルにおいて合同新春講演会を開催した。



商業四団体合同新春講演会

基調講演として、特定非営利活動法人アンプの齋藤一成理事長による「進化を続ける100円商店街とその導入による商店街の活性化について」と題した講演が行われ、続くパネルディスカッションでは、齋藤理事長のほか、芝山団地商店会の高村清太郎会長、箕面商工会議所・中小企業相談所の秋田英幸所長の3名をパネリストに迎え、中小企業診

断士の伊藤大海氏によるコーデイナーのもと、「各地での100円商店街導入を成功させるための工夫について」をテーマに、商店街活動の活性化について熱心な議論が展開された。

続いて催された賀詞交歓会では、千葉県の森田健作知事をはじめとする多数のご来賓にご臨席いただく中、魅力あるまちづくりを目指す県下の商業関係者による積極的な情報交換が行われた。

組合決算講習会 開催

本会は2月4日、千葉市内において、平成24年度組合決算講習会を開催した。

本講習会では、関係法令に基づく適正な決算処理がなされることを目的に、「組合の決算手続き」と題し、税理士の古知潔先生による講義が行われた。



組合決算講習会

会（新春セミナー）を開催した。今回のセミナーは、「顧客から支持され続ける『ダントツ組織（ビジネス）』への変革！～あなたの好きなお客様だけを集めるソーシャルメディア活用術とは？」と題し、(株)ウィズダム・デザイン代表取締役の白鳥友康氏による講演が行われ、主に、ソーシャルメディアの実践活用術として、フェイスブックを使った集客やブランディングのノウハウについて解説いただいた。

参加者からは、「フェイスブックに興味はあったが、ここで始めようと考えました」、「知らなかった事が沢山あってとても参考になった」、「フェイスブックとツイッター、ブログがリンクして同一記事の投稿が簡単に出来ることがわかって良かった」、「した方が…と二の足を踏んでいたが、やる必要性」が明確になった、「一つの投稿から『いいね！』をもらうとどのくらい広がっていくのかがよくわかったので、活用していきたい」などの声が寄せられ、質疑応答では大変熱心な質問が飛び交うなど、新春セミナーに相応しく活気あるセミナーとなった。

女性経営者等交流会 開催

本会は2月7日、千葉市内のホテルにおいて、千葉県中小企業団体レディース中央会との共催により、平成24年度女性経営者等交流



女性経営者等交流会（新春セミナー）

金融懇談会 開催

本会は2月12日、(株)商工中金千葉支店において「平成24年度第2回金融懇談会」を開催した。

同懇談会には、本会から藤原専務理事、今関事務局長をはじめ15名が参加、また(株)商工中金からは佐々木千葉支店長、関原松戸支店長ら9名が出席した。

情報交換を主題に開催された同懇談会では、本会から「組合の設立状況」や「平成24年度千葉県における中小企業労働事情について」の報告を行い、(株)商工中金からは「最近の金融情勢」のポイントについての報告がなされた。

最後に、情報・意見交換として、

「組合金融の問題点」について、中小企業金融円滑化法の期限到来後の検査・監督の方針、中央会推薦貸付制度等についての情報交換が図られた。

中小企業団体情報連絡員会議 開催

本会は2月19日、千葉市内のホテルにおいて、平成24年度情報連絡員会議を開催した。

今回は、冒頭二部構成によるリレー講演の形式を採り、最初に三井住友海上火災保険(株)千葉支店千葉第一支社の君冨則行中央会担当課長より、「貸倒損失をリスクヘッジ！」国内倒産動向と取引信用保険等の最新情報」をテーマに、続いて、三井生命保険(株)千葉支店の小林誠法人推進部長より、「三井生命保険(株)のビジネスマッチングについて」と題し、それぞれ講演が行われた。

次に、本会より「情報連絡票集計結果報告」についての発表を行い、出席した情報連絡員間における、個別具体的な情報交換を図った。会場からは、それぞれの業界の動向等について、昨今の厳しい経済情勢を反映した内容の声が寄せられるとともに、今後への期待や要望といった声も数多く聞かれた。



情報連絡員会議

千葉県中小企業団体事務局責任者協会

千葉県中小企業団体事務局責任者協会（楢貝孝二郎会長▽千葉県貿易協同組合常務理事）は2月20日、千葉市内のホテルにて、第6回通常総会を開催した。

議案審議では、①平成24年度事業報告及び決算報告承認の件、②平成25年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件、③会費の賦課徴収方法決定の件の3つの議案が上程され、いずれも原案通り承認可決された。

続いて、中央会の組合事務局強化事業により「組合運営研究会」が行

われ、事例研究として、千葉県コンクリート製品協同組合の神子勇参事より「事務局責任者が果たすべき役割と永年の実践状況」と題する発表が行われた。

神子氏からは、これまで20年超に亘って「組合員の発展」及び「組合の活性化」のために取り組んでこられた内容（新製品開発、ISO認証取得、助成事業の活用等）とともに、混迷の時代こそ志高くとこれからの事務局責任者が果たすべき役割等について熱くお話いただいた。

その後、事務局責任者協会主催の全体交流会では、会員相互の緊密な情報交流の伸展が図られた。



組合運営研究会